

3月消費支出 外食費など減

総務省発表の三月の家計調査で、津市の二人以上世帯の一世帯あたりの消費支出は名目ベースで前年同月比13.0%減となった。内訳を見ると、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が色濃く出ている。

外出の自粛などに伴い、外食費は27.8%減、宿泊料などを含む教養娯楽サービス費は17.1%減、交際費は24.0%減となった。特に卒業式などで増える理美容サービス費は48.3%減と下げ幅が大きかった。

一方、コメのほかパスタやカップ麺などの麺類を含む穀類は21.4%の増加。内食の機会や手軽に食べられる食品の需要が増えていることがうかがえる。携帯電話通信料や送料を含む通信費も60.2%増で、自宅で過ごす時間が増え、通信販売の利用拡大などが影響しているとみられる。

県は緊急事態宣言の全国拡大に伴い、四月二十日に遊興施設などの休業や飲食店の営業時間短縮、不要不急の外出自粛を要請し、同月の消費支出はより一層厳しい数字になるとみられる。県内が緊急事態宣言の対象から外れたとしても、この傾向は当面続くだろう。

(コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 谷ノ上千賀子)

3月の消費支出 (津市、2人以上世帯1世帯あたり)		
	(円)	前年同月比(%)
消費支出	273318	13.0 ↓
外食	8907	27.8 ↓
被服および履き物	9695	22.0 ↓
教養娯楽サービス	17015	17.1 ↓
理美容サービス	2271	48.3 ↓
交際費	14873	24.0 ↓
穀類	6664	21.4 ↑
通信	16035	60.2 ↑

※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む (百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました)」

2020年5月14日